

目的 カーペット磨耗につき，織機学会第35回年次大会(59.6.15)で報告した。そのま
いも，アクリル，ポリエステル，ナイロン使用単色カットパイルカーペットに於ては，JIS
L-1021 敷物試験法のテーパー磨耗(H38)重量減少率と歯車による動的荷重厚さ減少率A法
による試験結果は，カーペットの磨耗による明度変化，色差，変退色カラースケールによ
る退色値とよく一致することと報告した。しかし，ナイロンループカーペットについては，
この関係を明らかに出来なかつたので，今回はこの問題につき検討を加えてみた。

試験方法 使用タイルカーペット規格

	断面	パイル	ゲージ	ストレッチ	パイル高	1st基布	バックグ	2nd基布	全高	重量
Nylon BCF 800d/60f/3p(3色)可染性	△	ループ	1/10	11.5	3.5mm	PET <small>ポリエステル</small>	ビタマン	乾不織布	7mm	4.445%
P.P. BCF	○	ループ	1/10	11.5	3.5mm	"	"	"	7mm	4.102%

磨耗はJIS L-1021, 6.11 動的荷重による厚さ減少率A法, 6.12 テーパー磨耗(H38)重量減少
率, 磨耗回数5000, 10000回。測色: スガ試験機SM-3(0-拡散)。変退色カラースケール。

結果

項目 品種	歯車厚さ減少率%		H38 重量減少率%	
	5000回	10000回	5000回	10000回
Nylon	13.4(26.8)	17.2(34.4)	0.18(2.95)	0.21(3.45)
P.P.	20.6(41.2)	22.0(44.0)	0.32(6.65)	1.13(23.5)

3色混然ループパイル品では，色の変
化と磨耗の関係を明らかに出来なかつた。
ループパイルカーペット磨耗の検討に
は，従来の磨耗試験の他に，カーペット

()内は，パイル繊維量に対する率。磨耗品の外観検討(ループの寝合せ，織
継傷み合せ，色の変化など)が必要であることを痛感した。